

環境経営レポート

ZEB株式会社

2024年度 第1期

(対象期間：2024年10月1日～2024年12月31日)



発行日： 2025年1月1日
更新日： 2025年1月9日

経営方針、事業内容、理念

ZEB株式会社の環境経営レポートをご覧ください、誠にありがとうございます。初めに経営方針、事業内容、理念について説明いたします。

経営方針

ZEB株式会社は、「Beyond Zero Emission future」を掲げ、脱炭素を超えた価値を提供し、持続可能な未来の実現を目指しております。気候変動対策が求められる中、建築物のエネルギー最適化を通じて温室効果ガスの削減に貢献し、環境負荷の低減と快適な空間の両立を推進してまいります。

また、自然エネルギーの活用や建物のライフサイクルを考慮した資源の有効活用に努め、カーボンニュートラル社会の構築を支援いたします。事業活動においても環境意識を高め、持続可能な社会に貢献してまいります。

事業内容

ZEB株式会社は、環境負荷の少ない建築の普及を目指し、以下の事業を展開しております。

- ZEBコンサルティング：建築物のZEB化を支援し、エネルギー消費量を削減します。
- 省エネ適合判定・BELS評価支援：建築物の省エネ性能を向上させ、環境基準適合をサポートします。
- コミッショニング：建築設備の性能検証を行い、最適な運用を実現します。
- エネルギーシミュレーション：設計段階からエネルギー消費を最適化します。
- 脱炭素調査・研究：環境負荷低減の技術開発や戦略策定を支援します。
- 補助金活用支援：脱炭素施策の推進に向けた補助金活用をサポートします。
- 環境教育・研修：企業や自治体向けにZEBの普及を目的とした研修を提供します。

Beyond Zero Emission future の理念

当社は、単なる脱炭素化にとどまらず、人々の幸福、健康、快適性と環境負荷の低減を両立する建築や社会の実現を目指します。自然と共生する持続可能な社会を創り、豊かな未来へ貢献してまいります。

環境経営方針

ZEB株式会社は、「Beyond Zero Emission future」の方針のもと、脱炭素を超えた社会の実現を目指しています。その実現に向け、以下の環境経営方針を掲げ、社員全員で共有します。

1. 建築物の脱炭素化の普及促進と脱炭素社会への貢献

新築・既存建築物を問わず、ZEBを含めた脱炭素化実現のための包括的なサービスを提供し、建築物の脱炭素化を推進します。

国内外を問わず、建築物の脱炭素化に関する知見と技術を活用し、非住宅建築物の脱炭素化の促進に努めます。

建築物のエネルギーシミュレーション、調査・研究を通じて、建築物の脱炭素実現に向けた最適な手法や対策を提案します。

ZEBを含めた建築物の脱炭素実現に関する講演・研修を通じて、建築物の脱炭素実現の重要性や実現に向けた手法を広く啓発します。

2. 事業活動における環境負荷低減

事業活動に伴う環境負荷を低減するため、省エネルギー、省資源、廃棄物削減に積極的に取り組みます。

事業活動におけるCO2排出量を算定し、カーボンクレジットを活用することで、2024年度以降、事業所のエネルギー起源CO2排出量の実質ゼロを目指します。

3. 環境関連法規の遵守

環境に関する法令、条例、その他の要求事項等の環境関連法規を遵守します。

4. 継続的改善

環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善を図ることで、環境パフォーマンスの向上に努めます。

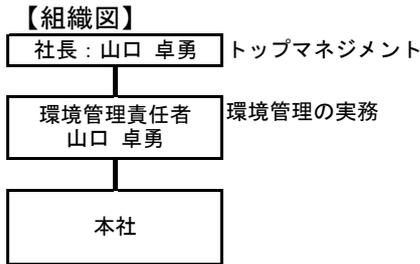
2024年10月1日作成、2025年1月9日改訂
ZEB株式会社
代表取締役 山口 卓勇

組織の概要及び対象範囲（認証・登録範囲）

- (1) 名称及び代表者名
ZEB株式会社
- (2) 所在地
本 社 岡山県岡山市北区柳町2丁目11-20ダイトクビル8階北
- (3) その他のデータ
創業：2023年12月28日
資本金：999万円
社員数：3名（役員を含む）
事業の内容・活動：
ZEB実現のための支援/コミッションング/建物の環境、エネルギーシミュレーション/
調査・研究/講演・研修
認証登録範囲：全社・全活動

実施体制及び役割権限責任

更新日：2024年10月1日



社長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・環境への取組み実施のために必要な人員、設備、費用等を準備する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・環境経営目標・環境経営計画書の作成 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの作成
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を理解し環境への取組みを実践する。

主な環境負荷の実績

項目	単位	2024年度前期	2024年度試行期間
		(4月～9月)	(10月～12月)
二酸化炭素排出量	kg-CO2		364.48
電力（中国電力）	kg-CO2	574.38	364.48
一般廃棄物	kg	30.0	16.5

※二酸化炭素排出量は中国電力が公表する排出係数（令和4年実績）である0.544kg-CO2/kWhを利用して計算

環境経営目標及びその実績

項目		2024年度		2024年度		評価	2025年度	2026年度
		2024年4月～9月までの実績を倍にした暫定の基準		試行期間中について記載（2024年10月～12月）				
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)	
電力による二酸化炭素削減	実績 (kWh)	2,108	-	670	×	-	-	
	総労働時間あたりの電力使用量を基準年度比1%削減（総労働時間3,057時間）	kWh/労働時間	0.345	0.341		0.386	0.338	0.335
	基準年度比	-	99%	112%		98%	97%	
一般廃棄物の削減	実績 (kg)	30.0	29.7	13.5	○	-	-	
	従業員1人あたりの一般廃棄物（資源化物以外）を基準年度比1%削減	従業員あたり (kg)	20.0	9.9		4.5	19.6	19.4
	基準年度比	-	99%	180%		98%	97%	
水道水の削減	-	-	節水の啓蒙	節水の啓蒙	○	節水の啓蒙	節水の啓蒙	
設計・コンサルティング業務のうち、ZEBまたはZEH-Mが占める割合を増やす。	受注件数	4	2	2	○	8	10	
	ZEBまたはZEHの件数	2	1	2		5	7	
	基準年度比	50%	50%	100%		60%	70%	

※水使用量については、利用するのはすべて共用部であるため、目標値を設定していません

※化学物質使用量については、使用がないため目標設定を行っていません

本年度の取組みとその評価 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	×	暖房が必要な期間となり、エアコンの利用が増えている。また年度末に差し掛かり残業も増えている。日常的な節電の取り組みは実施しているが、施工期間の原単位目標は超えている。今後は、開口部の断熱、残業時間の削減など図り、通年での数値目標の達成を目指す。
従業員への節電の呼びかけ（照明、エアコン）	○	
インクジェットプリンターの活用	○	
残業時間の削減	△	
開口部の断熱	△	

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	段ボールをリサイクルに回したことで一般廃棄物の量を削減できた。引き続き分別によるリサイクルを推進していく。
古紙の分別	○	
従業員へのペーパーレスの呼びかけ	○	
両面印刷の徹底	○	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
従業員への節水の呼びかけ	○	水道施設が共用部にしかないため効果は限定的だが、節水の呼びかけを継続して実施する

設計・コンサルティング業務のうち、ZEBまた	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	試行期間中に受注した案件はすべてZEBまたはZEH-M関連であった。当社のミッションでもあるZEBの普及に向けて今後も積極的に営業活動を展開していく。
営業活動の実施	○	
講演活動の実施	○	

実施した教育・コミュニケーション・緊急事態訓練

年月日	区分	内容
2024年10月1日	教育	EA21運用開始教育
2024年12月16日	訓練	緊急事態の訓練

※対象期間中、外部からの苦情などはありませんでした

緊急事態の想定
緊急事態の想定：火災の発生
実施日：2024年12月20日
実施内容： 火災手順書の試行
参加者：全員
評価： 手順書変更 <input type="checkbox"/> 必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 必要なし

環境関連法規等の取りまとめ

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	<input checked="" type="checkbox"/> 遵法 <input type="checkbox"/> 非該当
改正建築物省エネ法	ZEBの普及のために、その制度を詳細に把握する。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵法
改正フロン法	エアコンの冷媒漏洩防止のための定期的にチェックを行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵法
廃棄物処理法	一般廃棄物処理の許可業者への委託	<input checked="" type="checkbox"/> 遵法
	（産廃が出た場合）収集運搬契約書の締結	<input type="checkbox"/> 非該当
	（産廃が出た場合）中間処理契約書の締結	<input type="checkbox"/> 非該当
	（産廃が出た場合）マニフェストの発行	<input type="checkbox"/> 非該当
家電リサイクル法	（排出時）リサイクル料金の負担	<input type="checkbox"/> 非該当

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

社長による全体の評価	2025年1月8日
試行期間中の取り組みであり、暫定的な目標達成度の評価となっている。電気の消費原単位が目標を超過している。適切な省エネ対策や効率的な稼働を通して、通年での目標達成を目指す。その目標は暫定的には達成している。目標の通年での達成を常に意識し、継続して行動する。	

マネジメントシステムの変更に関する指示

環境経営方針	環境経営目標・計画	実施体制
変更の必要は無い	基準が暫定値であるため、来年3月には今年度の運用結果を基に2025年度以降の運用計画を策定する。	変更の必要は無い